

2016年10月24日

北海道知事

高橋 はるみ 様

民進党北海道総支部連合会

代表 佐々木 隆博

民進党北海道 J R 北海道路線維持対策本部

本部長 荒井 聡

## J R 北海道路線維持問題に関する要請書

J R 北海道は厳しい経営状況を踏まえて、秋までに「J R 単独では維持困難な線区」を公表するとしています。これによると11路線16区間が該当すると見込まれており、これまでJ R 北海道が進めてきた、減便・駅の廃止・特急列車の運行体制の見直しを含めると、好調な観光への打撃、住民の足の確保が困難になるなど、地域の衰退に拍車がかかることなどが懸念されます。

民進党北海道は、J R が北海道にとっての公共交通機関として、必要不可欠なものと判断し、地域住民や沿線自治体の声を踏まえて以下のとおり要請します。

### 記

1. J R 北海道の路線維持に向けて、北海道として最大限の支援をすること。
2. 北海道全体の公共交通機関の将来ビジョンを示すこと。
3. 人口減少問題に対して十分な対策を講じること。また、鉄道事業の活性化を通じて地域社会が活力に満ちるよう取り組むこと。
4. 北海道の観光政策における J R の位置づけを明確にすること。
5. 農産物輸送のための J R の位置づけを明確にすること。

以 上